

施設患者 ID : 生年月日 (西暦) 年 月 日

患者氏名 : 記載日 年 月 日

紹介元施設名
科 担当医師氏名

【女性の妊孕性温存の対象患者は以下となります】

- 原疾患の治療により卵巣機能の低下が予想される方
- 妊孕性温存療法 (以下本法) を施行することが、原疾患の治療の実施に著しい不利益とならないと判断される方
- 本法実施は採卵時年齢 43 歳未満
- 凍結卵融解利用は 50 歳未満 (女性加齢によって母体や児の異常の発症頻度が増加することが知られており、原疾患治療によって利用できない期間が長くなっても制限されます)
- 推奨される紹介時期は、薬物療法開始前です。

○ 本患者に対する妊孕性温存への主治医の意見

(本人の希望があれば可 ・ できればしないほうが良い)

○ 生殖機能温存の開始可能時期 (年 月 日)

固形腫瘍：原疾患病巣摘出後、化学療法前

造血器腫瘍：寛解期、または化学療法の間、造血幹細胞移植前

○ 本法 (採卵) に際して原疾患の治療開始を待てる期限： 年 月 日頃まで
(採卵までに最短 2 週間、2 周期なら最短 6 週間程度を要します)

○ 原疾患の状態・予後など

診断日： 年 月

疾患名：

臨床病期：

ホルモン受容体：ER (+ -) PR (+ -) HER2 (+ -)

○ これまでの原疾患の治療

手術 (手術日 年 月 日 術式：)

放射線治療 (部位： Gy)

薬物療法 (抗がん剤：レジメン名 ・ 期間：)

(分子標的薬：レジメン名 ・ 期間：)

(その他：レジメン名 ・ 期間：)

- これからの治療予定（手術 化学療法 放射線療法 その他）
- 手術（手術予定日 年 月 日 術式： ）
- 放射線治療（部位： ・ Gy）
- 薬物療法（抗がん剤：レジメン名 ・ 期間： ）
- （分子標的治療剤：レジメン名 ・ 期間： ）
- （その他：レジメン名 ・ 期間： ）
- 治療開始予定時期（ 年 月 日ころまでに開始）
- 患者背景
- 合併症・感染症：
- 精神状態に問題（ なし ・ あり： ）
- アレルギー：（ なし ・ あり： ）
- その他：

血液型・血算・凝固・感染症検査など結果があれば添付してください。

3枚目は患者本人の記載用です。

